

◆にらさき遺産めぐり第13回

船に乗ったお地蔵様

韮崎市のお寺の境内を散策すると船に乗ったお地蔵様に出会うことがあります。「岩船地蔵尊(いわふねじぞうそん)」と呼ばれるお地蔵様で、江戸時代中期に、下野国(しもつけのくに・現在の栃木県)の岩船を出発点にした地蔵信仰を広める人たちによるものです。三味線・尺



竜岡若尾新田法伝寺 岩船地蔵

八・太鼓などに合わせて念仏を唱え踊りながら、村々を回ったといわれ、享保(きょうほ)4年(1719)から7年間ほどの短い間に、群馬・長野・東京・神奈川・山梨に広まりました。

岩船地蔵尊は船の進む方向に対して横向きのものと、船の進む方向のものがあります。横向きのは群馬や長野に多く、進む方向のものは東京や神奈川に多いです。船の先を向いているお地蔵様は進むべき道を先導していて、横を向いているお地蔵様は対岸を見守っている姿を表現したものだともいわれています。

市内では、神山町鍋山の大慈寺、旭町上条南割の大公寺、竜岡町若尾新田の法伝寺(ほうでんじ)、大草町若尾の正福寺(台座の船のみ)があります。この他に、『韮崎市誌』や『韮崎の石造物』によれば、藤井町南下条や韮崎上ノ山にあるそうです。

遠く栃木県の人々と信仰を通じた交流の証を今に伝えていきます。 記事：文化財担当 関間俊明

平成27年度「社会を明るくする運動」入選標語 峡北保護区保護司会

《最優秀賞》 山梨県推進委員会 委員長(知事)賞

「大丈夫？」 さしだすあなたの 優しい手 菲崎西中 菊辻紗夏さん

《優秀賞》 山梨県保護司会連合会 会長賞

広げよう 地域の絆と みんなの笑顔 菲崎高校 清水智美さん

《入選》 峡北保護区保護司会 会長賞

あなたの手 心の闇に 差す光 菲崎東中 塩澤飛鳥さん
 あいさつは 心のとびらを ひらくかざり 甲陵中 栗原信敬さん

※本市在住者及び市内の学校へ通学されている方のみを掲載

シリーズ 燃やせ青春！熱いぜ部活動①

そうし そうあい 箏思奏愛

— 韮崎高校箏曲部 —



この夏、滋賀県で開催された「第39回全国高等学校総合文化祭」の箏曲の部に山梨県代表として出場した韮崎高校箏曲部。「琴」というと“おしとやか”なイメージがありますが、練習中、汗をぬぐうことも無く、一心不乱に琴と向き合う彼女たちの姿はとても躍動的でそして輝いて見えました。「琴の音色はみんなの気持ちが一つになったときに、美しい音色を奏でます。今年のテーマ「箏思奏愛」にはそんな思いが込められています。全力を尽くし、みんなで楽しみながら演奏することで、講師の林紘子先生に恩返しがしたいです。」と話すのは部長の渡邊絢子さん。部員全員の心をつにし、幻想的で美しい音色を全国の舞台に響き渡らせました。

